

「言語特有のリズム、プロソディの獲得」「言語特有の音韻体系の獲得」に参加された皆様へ
研究終了に伴うデータ取り扱い変更等についての説明資料「情報公開文書」

理化学研究所脳神経科学研究センター脳発達分子メカニズム研究チーム言語発達研究班は、理化学研究所の倫理審査委員会で承認を受けている下記の研究計画のもと、言語発達研究チーム(2004年7月～2023年3月)、言語発達研究班(2023年4月～2027年3月31日(予定))として、人の言語発達に関する研究を遂行してまいりました。当研究で取得したデータの取り扱い等について変更等があり、情報を公開いたします。ご不明点や同意撤回をご希望の場合はお問い合わせください。

研究期間：2004年11月16日 2013年3月31日 研究承認番号：和光第三16-12 研究課題名：言語特有のリズム、プロソディの獲得	研究期間：2013年3月19日 ～2018年3月31日 研究承認番号：和光第三24-11 研究課題名：言語特有の音韻体系の獲得
研究期間：2018年4月1日 ～2023年3月31日 研究承認番号：和光第三30-2 研究課題名：言語特有の音韻体系の獲得	研究期間：2023年4月1日 ～2027年3月31日(予定) 研究承認番号：Wako3 30-2 研究課題名：言語特有の音韻体系の獲得

データ取得機関：

理化学研究所脳神経科学研究センター言語発達研究チーム

理化学研究所脳神経科学研究センター脳発達分子メカニズム研究チーム言語発達研究班

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

理化学研究所 脳神経科学研究センター 言語発達研究チーム

言語発達研究チームリーダー (～2023年3月)

脳発達分子メカニズム研究チーム 言語発達研究班 客員主管研究員

(2025年7月14日～2027年3月31日(予定)) 馬塚 れい子

理化学研究所 脳神経科学研究センター 脳発達分子メカニズム研究チーム

言語発達研究班 (2023年4月～2025年7月13日) 研究員 高橋 美樹

概要(目的、利用方法を含む)：

世界には多数の言語が存在していますが、各言語は個別の音韻体系を有しており、子供が言語を獲得する過程において、母語固有の音韻体系(音声システム)を獲得する必要があります。子どもが学習する音韻体系には、母音や子音といった分節音や韻律的特徴が含まれています。韻律的特徴は、発話にともなう声の抑揚(例えば質問文の文末が上がり調子になる)やポーズ等を含む文全体のメロディのようなもののことです。本研究では、ヒトが母語に特異的な音韻体系をどのように獲得していくか、また成人話者において母語の音韻体系の獲得が、他言語や音響情報を処理する際にどのように影響するかを調べることを目的として、行動観察、脳活動測定、音響解析等の手法を用いた研究を進めています。

上記の課題で取得のデータにつきましては、昨今の研究を取り囲む状況の変化と、所属メンバーの転職等、研究体制の変化への対応をするため、お取り扱い方法を変更させていただきます。研究内容等についてのお問合せ、

同意撤回のご希望、あるいは協力中止のご希望がある方は、本便末にお示しする期限、連絡先までご連絡いただけますようお願いいたします。

※理研母子会話コーパス/追加コーパスに関しては、別文書でもデータ管理委託に関する情報公開を行っております。

※2013年3月～2020年6月に実施の縦断研究（遺伝子用試料を採取させていただいた調査）にご参加者には、行動観察や質問紙調査の他、遺伝子用試料として唾液を採取させていただきました。和光第一 22-1『言語機能に関する遺伝子の研究』に関係し、別文書で情報公開を行っておりますので、あわせてご確認のほど、お願いいたします。

・対象者：すべてのご参加者

1. 測定値あるいはメタデータの公開について

近年、投稿論文の学術的正当性の確認を目的として、多くの学術論文雑誌社が、投稿者に、その主張の根拠となる測定値やメタデータ（情報の属性についての説明タグとなるデータ）の公開を論文投稿時点で行うように、規定で義務付ける状況にあります。また、論文著者自身の所属機関、多くの研究助成機関も同じ目的で同様の公開を求めています。公開は、データの測定値等の情報、調査中に取得したデータ等のデジタルデータを、研究機関のリポジトリ、あるいは、投稿論文誌のデータポリシーに適合するリポジトリ等に格納する形式で行います。研究機関のリポジトリとしては、理化学研究所脳神経科学研究センターリポジトリシステム、所外のリポジトリとしては Open Science Framework(米国ワシントン DC を拠点とする非営利機関。略称 OSF)を想定しています。OSF のある米国には、HIPAA (Health Insurance Portability and Accountability Act of 1996; 医療保険の携行性と責任に関する法律)があります。OSF のデータセットには、HIPAA で定義されている、識別可能な個人情報（名前、生年月日、顔の特徴情報など）を含まないこととされています。国内外いずれのリポジトリを利用する場合にも、格納されるデータには個人の特定につながる情報を一切含みません。提供されるデータは以下2の項、(i)に記す種類のもので、これらのデータには個別の電子符号（digital object identifier 番号：通称 doi 番号）や URL が付与され、論文誌の査読者、論文の読者が、登録されるデータセットを元に、論文中の統計解析手法が適切かどうかの検討を行ったり、個々のデータが適切な対象者群から得られたものかを確認したりするのに用いられることが利用の範囲として想定されており、その目的に必要な情報のみが格納されます。番号や URL を知る、インターネットに接続できる者は誰でもアクセスができるものの、公開のデータから個人の特定は行えず、論文の正当性の確認以外の利用可能性は、ほぼ考えられません。

2. 共同研究機関、共同研究者へのデータ移転（MTA 等）について

外部機関へのデータ提供について：研究実施者の転出に伴い、別紙一覧に記載の研究機関へデータの提供を行う予定です。提供予定先の機関は、皆様にご参加いただいた調査に研究実施者として直接従事していたメンバー転出先機関あるいは直接研究に係りのある共同研究者の本務先機関です。メンバー転出先機関については、本説明資料公開時点で確定していないものがあるため、提供予定機関が追加される場合、別紙一覧を更新します。データ提供は、理研・各機関での倫理申請等の必要手続き、倫理審査委員会による承認と機関の長の実施許可後に行なわれ、調査参加時に同意いただいたものと同一の研究目的のもと、言語発達研究班解散後も引き続きこれらのメンバーが論文執筆や学会発表に必要となるデータ分析をするために行なわれます。調査ご参加時に、公開同意書に同意いただいている方の録画録音データについてのみ、同意内容に基づき学会発表等で使用される可能性があります。

提供されるデータは以下のようなものです。

i) 個人の特定に直接つながる情報を含まないもの：

- 視覚馴化脱馴化法や選好振り向き法調査で得られた刺激音声呈示時の画面注視時間
- 調査中の脳機能測定結果（近赤外線分光法、脳波測定）、刺激呈示時の眼球運動測定結果
- 質問紙調査結果、発達検査結果
- 乳児の発話音声の録音
- 唾液中の各指標成分（アミラーゼ、コルチゾール、オキシトシン）の測定値、心拍測定値
- お子様の言語環境や発達状況の確認や、成人を対象とする発話音声録音調査、脳機能測定調査・行動調査ご参加者の言語的背景情報として、お子様のご両親あるいはご参加者本人が18歳までに3年以上過ごしたが出身地の情報（都道府県のみ。国外については国名のみ）、外国語に触れる状況、お子様の月年齢情報、ご参加者本人の年齢層・誕生年の西暦の情報

ii) 個人情報（顔映像）を含むもの：

- 母子相互対話形式で行う発話音声・発話内容を分析する調査（発話音声データ、書き起こしテキストデータ、映像データ）
- 調査参加時に発話音声データ、映像データ使用に関する公開同意書に同意をいただいている方の録音・録画データ
- 調査手順正当性評価検証用録音・録画データ（調査中の様子や行動調査においては行動の様子を撮影したもの）

iii) 個人情報（顔映像）を含むもの。データ全体として組合せにより個人推定の情報を含みうるもの：

- 理研母子会話コーパス(2005年)/追加コーパス(2009年)（発話音声データ、書き起こしテキストデータ、映像データ）

発話音声の分析、発話状況の確認に補助的情報として映像を用いる必要があります。これには個人情報（顔映像）が含まれます。また、日本語に特有のモーラ数のカウントに必要となるため、別文書でご説明の公開版理研母子会話コーパス/追加コーパスとは異なり、共同研究機関に移管されるコーパスは、姓、お子様のお名前、愛称、地名等の発話されている部分が加工されていない音声、書き起こしテキストをそのまま含むデータとなります。いずれのご参加者についても、姓名や住所地がそのまま発話された内容はありませんが、全体を通じて発話内容の組合せにより、個人の姓名の推測や調査参加当時の居住地域の推定につながれる情報が含まれる可能性があります。

データ移転の方法と移転後のデータ取り扱い：

理研所外と安全にデータを共有する方法として、BOX ストレージという高セキュリティクラウドサーバー(*)を利用します。サーバーへのアクセス権限の設定・ログイン ID・パスワード等は厳重に管理され、移管先の研究者当人のみがデータのダウンロードを行える設定にします。移管先において、データをダウンロードし、ファイル破損等の問題がないことの確認が取れ次第、クラウドサーバーにアップロードされたデータは速やかに消去します。

*次のコンプライアンス、セキュリティ基準に準拠：

ISO27001、 FINRA/SEC 17a-4、 Safe Harbor, EU and Swiss、
SSAE16 Type II, SOC1 and SOC2、 PCI DSS 2.0 Level1

データの共有は、原則として BOX サーバーを介して行いますが、共同研究機関側のネットワーク環境や研究

機材等の都合により、BOX サーバーの利用が困難な場合には、パスワード設定およびセキュリティ処理を施した記録媒体に保存した上で共同研究機関に持ち出すことがあります。

移転後のデータはパスワード設定およびセキュリティ処理の施された PC、サーバー、保管棚等で厳重に管理され、研究に関わりのない者がアクセスすることはありません。

データ移転の時期：

データ移転の時期は 2026 年 11 月を予定しています。提供データ群から同意撤回者の個別データをより分ける作業にも時間を要するため、同意の撤回をご希望の方は、2026 年 10 月 15 日までにご連絡いただけますようお願いいたします。

同意の撤回、データ提供の拒否について：

同意撤回、データ提供の拒否をご希望の方は、以下の項目をご参考に本便末の連絡先へご連絡いただけますようお願いいたします。同姓同名の方がおられることがあるため、ご参加者のお名前、お子様の生年月日をお知らせください。

なお、言語発達研究班の解散時に、連絡用にお預かりしている皆様の氏名・住所・メールアドレス・電話番号等の個人情報は、別文書「和光第一 22-1 言語機能に関する遺伝子の研究」に関する情報公開文書でお示しする、乳幼児・保護者様を対象とする縦断研究（2013 年 3 月～2020 年 6 月）へのご参加者で「将来、新たに計画・実施される言語機能に関わる医学研究」にご同意いただいている方の連絡先を除き、全て削除します。データベースの保存に用いた記憶媒体は、情報の復元ができないように、フォーマット・完全消去の電子処理を施した上で適切に廃棄します。

ご連絡先

理化学研究所 脳発達分子メカニズム研究チーム言語発達研究班 赤ちゃん・ちびっ子研究員受付

メールアドレス：kotoba.cbs@riken.jp

住所：〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 (B67)

理化学研究所 脳発達分子メカニズム研究チーム言語発達研究班

お問い合わせ期限

2026 年 10 月 15 日